



2015年12月17日

報道関係各位

株式会社ロイヤリティ マーケティング

日本初、スマートフォン活用による訪日客向け共通ポイントサービスを提供 ～180万会員を有する台湾「得易Ponta」から開始。Ponta提携の1万店舗以上で対応～

共通ポイントサービス「Ponta（ポンタ）」を運営する株式会社ロイヤリティ マーケティング（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：長谷川 剛、以下「LM」）は、日本初となる、スマートフォンを活用した訪日客向けの共通ポイントサービスを提供いたします。

■ 訪日客向けサービスの概要

本サービスは、訪日客が日本国内のPonta提携店舗でお買い物をする際に、スマートフォン向けアプリで動作する「デジタルPontaカード」機能を活用することで、共通ポイントサービスの利用が可能となるものです。訪日客は、ご自身のスマートフォン画面を店頭で提示するだけで、日本で簡単にポイントをためて、つかうことができます。日本でためたポイントは帰国後に自国のポイントに自動移行され、自国内でもつかうことができます。

また、Ponta提携社にとっては、訪日客向けサービスの拡充を、日本のPonta会員向けの顧客対応と同様の店舗オペレーションで実現でき、拡大するインバウンド需要に対応することができます。

■ 台湾「得易Ponta」会員向けサービスの概要

本サービスの第一弾として、2015年12月17日（木）より、台湾の共通ポイント事業者「Eastern Integrated Marketing, Inc.」（以下「EIM」）と業務提携し、EIMが運営する台湾における共通ポイントサービス「得易Ponta」の会員向けにサービスを開始します。

「得易Ponta」は、LMによるブランドライセンス提供のもと、EIMが2014年12月に開始した台湾の共通ポイントサービスで、2015年12月現在、約180万会員を有しています。

「得易Ponta」会員は、訪日時に、スマートフォン向けの「得易Ponta」アプリで会員証バーコードを店頭提示するだけで、ポイントをためて、つかうことができます。12月17日（木）時点では、「ローソン」「ローソンストア100」「ナチュラルローソン」「ルートインホテルズ」（※個人・直接予約のみ）「セガ エンタテインメント」（合計1万3,284店舗）が本サービスを導入し、今後も順次、対象店舗を拡大していく予定です。

■ 今後の展開

世界的に普及しているスマートフォンを活用し、国を跨いだ共通ポイント事業者間で協業することで、訪日客が日本でボーダレスに共通ポイントサービスを利用できると同時に、提携企業のインバウンド需要にも対応する、日本初のサービスとなります。

台湾を皮切りとして、アジアを中心に対象となる国やサービスを拡大するとともに、同様のサービスを日本のPonta会員向けに提供することも検討いたします。

LMは、「Ponta」の「便利・おトク・楽しい」世界が、いつでもどこでも広がる生活密着型サービスを提供しています。



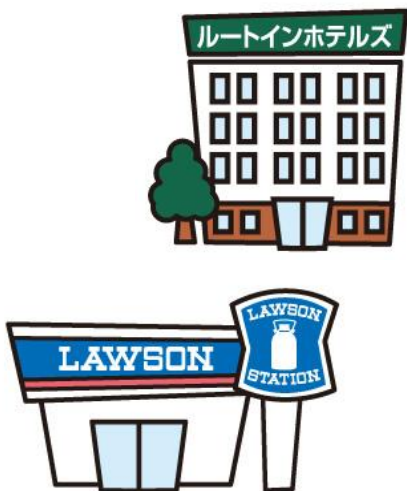
たまる・つかえる、広がる 共通ポイントサービス「Ponta」

<参考>

1. 訪日客向けサービス（台湾「得易Ponta会員」対象）

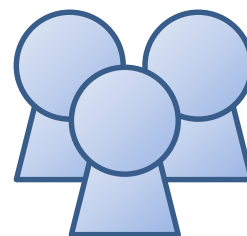
<日本>

特定のPonta提携店舗にて
ポイントをためる・つかう



<台湾>

台湾の「得易Ponta会員」が
日本に旅行する



「得易Ponta」アプリ
内で日本用の会員証を
表示し店頭で提示する

台湾でポイントカード
として利用されている
「得易Ponta」アプリ



日本でつかわれなかったポイント
（一定以上のポイント残額がある
場合）は、台湾の「得易Ponta」
ポイントに自動的に移行される

2. 台湾「得易Ponta」の展開



2014年12月にサービスインした「得易Ponta」。飲食店やコンビニエンスストアなど、日本と同じサービスキャラクター「ポインタ」が、台湾の街中に浸透しています。